

相馬港 港湾業務艇「おきかぜ」進水式

機能強化を図った新おきかぜ

東日本大震災によって被災した相馬港の港湾業務艇「おきかぜ」の代替船として新たに建造された新「おきかぜ」の進水式が、3月7日仙台塩釜港にて行われました。

新たに建造された業務艇には、東日本大震災時の航路啓開の経験から、災害発生時の海底地形探査や海底異常物探査もできるナローマルチビーム測深装置を搭載するとともに、水質測定機器なども装備して環境調査も可能となっています。

進水後は、小型船舶検査機構による検査ののち、相馬港へ配備され、沖防波堤などの海上工事において活躍することが期待されています。



全長: 16.5m
型幅: 4.1m
型深さ: 2.1m
満載喫水: 0.8m
総トン数: 19トン
速力: 27ノット

▲新たに建造された「おきかぜ」

